

北区ブランド強化



修練
2016年第四号
一般社団法人
にいがた北青年会議所

JCI Junior Chamber International Japan NIIGATA-KITA

一般社団法人 にいがた北青年会議所事務局

〒950-3321
新潟県新潟市北区葛塚3348
豊栄商工会館内



地域ブランドがテーマということで参加して下さった高橋政仁先輩（上）、山田秀行先輩（下）

北区の魅力をより多くの人につたえる為にメンバー一同邁進して行きま

す。

話の中で、ブランド化よりも前に地域に愛される農産物にしていく事が大切だと、海外での事例を交えた意見をいたしました。また、地域での評価を高める大きさが指摘されました。

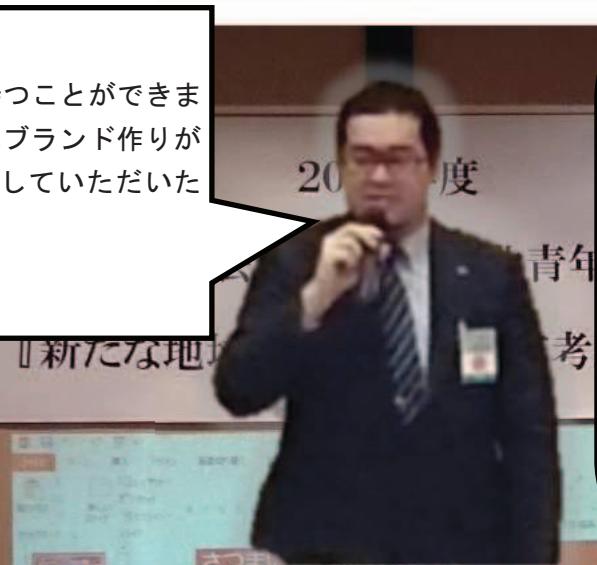
会場には北区の農業、漁業、観光の関係者、オブザーバーを迎へ、近年北区で栽培が広がっているサツマイモ「シルクスイート」などを例に上げ、農産物のブランド化を目指す取り組みが議論されました。

三月七日（月） 北区、長岡屋にて3月例会「新たな地域ブランドについて考えよう！」が行なわれました。

委員長の上野です、お疲れ様でした！

今回の例会で青年会議所と他団体との交流を持つことができました。今回の例会をきっかけとし、新たな地域ブランド作りが進んで行ければと思います。3月例会にご協力していただいた皆様に感謝しております。

ありがとうございました！



副委員長の有田です、メンバーの皆様2月例会事業に参加していただき大変ありがとうございました。

今回の事業においては農業に特化しすぎた部分がありました。講演、ディスカッション共にもっと広い範囲での話しができれば良かったなと感じました。





ロータリークラブ例会

二月二十四日（水）
町北幸にてロータリークラブ例会が行われました。例会では、いよいよさんが講師を務められ商売の秘訣や0円からの経営の手法が話し合われました。

新潟市北区出身で 東農大の小柳亮太選手が新潟市北区出身で 東農大の小柳亮太選手が時津風部屋に入ることとなりました。
思い起せば、2004年、にいがた北青年会議所（当時：豊栄青年会議所）が例年行っていたわんぱく相撲豊栄場所。この年は社会開発委員会（当時：水戸康司委員長）と豊栄の相撲組織である俵の会とでわんぱく相撲豊栄場所をしました。豊栄市内とその近隣小学校の大勢の子供たちに参加いただき、「父兄にもたくさん応援に来ていただいて行う」ことができました。

その後編成された豊栄代表チームは、県内の青年会議所率いるチームが戦う、わんぱく相撲新潟県大会五泉場所を見事勝ち抜き、第20回わんぱく相撲全国大会に出場を果たしました。「この時の出場メンバーに小柳亮太選手がいました。

東京の両国国技館で行われた全国大会では、団体戦は惜しくも上位進出できませんでしたが、小柳亮太選手は個人戦を勝ち上がり三位（わんぱく関脇）という素晴らしい結果を残しました。選手たちが皆、豊栄相撲場で夜までコ一チに鍛えられ、一生懸命練習した結果であり、また、応援タオルや「シャツ等の作成など、俵の会や「父兄の皆様の青年会議所事業に対する」理解・御協力もあって立派な成績をおさめることができたと思います。

未来へつながることの夢

世界選手権表彰式（右から2番目）

東日本学生相撲選手権大会優勝

社団法人 豊栄青年会議所
わんぱく相撲

実行副委員長 佐藤 格夫



2004年度新潟ブロック協議会 会頭公式訪問



第3回会員会議所会議



会員拡大支援セミナー